競 技 注 意 事 項

1．本選手権大会及び本記録会は、2021年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。

2．競技場使用について注意

(1) 陸上競技場（競技場フェンス内）への入場にはIDカードを提示しなければならない。IDカードは、陸上競技場外の受付にてスマートフォンアプリ使用の報告または体調管理チェックシートを提出後、1人1枚配付する。（※チーム・学校の場合は代表者がまとめて提出してもよい）
（※主催者が配付する2021年度版IDカードを所持している者は、受付に持参してチェックを受けること。）
入場口（退場口）はメインスタンド東側（A，B）と西側（C，D）、及び競技場西側スロープ入口ゲート（E）の5か所とし、それ以外の出入口は使用できない。

(2) 大会本部のある正面スタンド内には、関係者以外の者の立ち入りを禁止する。

(3) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。利用は、短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。

(4) 練習は補助グラウンドを使用すること。但し、投てき練習は禁止する。投てき練習は競技開始前に競技場所にて競技役員の指示に従って行うこと。

(5) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。（大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと）

(6) メインスタンドには、テント、部旗、幟、横断幕などは設置できない。競技中以外は前後左右最低1m、できれば2m以上の距離を常にとること。

3．競技者招集及びリレーのオーダー提出について

(1) 1次招集の場所は、補助グラウンド倉庫前付近とする。

(2) 招集時間は下記のとおりとする。

トラック	1次招集	競技開始時刻	30分前に完了
	2次招集	スタート地点にて競技開始	10分前に完了

フィールド	1次招集	競技開始時刻	50分前に完了
	2次招集	競技場所にて競技開始	30分前に完了

(3) 招集方法は次のとおり。

① 1次招集　　補助グラウンド倉庫前付近にて行う。招集場にて提示されたリストの自分の番号を指さし、招集所係員が〇をつける。その際、靴底の厚さを確認する。またトラック競技は（リレーは最終走者のみ）「腰ナンバー標識(シール式)」をとり、各自で競技場所へ移動する。 アスリートビブス・スパイクピンの点検は現地で受けるのでまずは自分で確認しておく。

② 代理人による2次招集は認めない。2種目（個人種目とリレー）を同時に出場する競技者は、予めその旨を本人、又は代理人が競技者係に申告し許可を受けること。

③ 欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取ること。

④ 2次招集完了時刻に競技場内にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

(4) リレーのオーダー提出について

① 提出締切は、<u>1次招集完了の60分前</u>に完了とする。
但し、<u>予選及び記録会については、早朝のため、1次招集完了時刻までに</u>提出する。

② オーダー用紙は、当日、招集所で配付する。

③ リレーに4名で申込んだチームが、当日4名に満たない場合は選手の補充はできない。

4. 用器具について

(1) 「ポール」と「やり」は私物の使用を認める。但し、「やり」は競技開始1時間30分前～1時間前までに用器具庫（競技場内本部裏側）にて検査を受けること。
「ポール」は跳躍場で競技役員から競技開始前に検査を受けること。

(2) ジャベリックボールは主催者が準備したものを使用する。

5. 競技について

全　　般

(1) トラック競技及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。

(2) トラックとフィールドにまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨申し出てトラック競技を優先して出場することを原則とする。

(3) ナンバーカードは胸背部につける。
但し、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。

トラック競技

(4) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバーカード」を右腰やや後方に貼り付けること。

(5) リレーに出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。

(6) 本選手権大会における決勝については、以下の通りとする。（記録会について、決勝は行わない。）

- 400m以下の競技及び4×100mRは予選を行い、着順＋上位記録の8名(8チーム)を選び決勝を行う。但し、同組以外で同タイムの者は抽選する。同組で同タイムの場合は着順を優先する。
- また組数が4組以上ある競技については、タイムレース予選とし、上位記録8人を選び決勝を行う。
- ただし、中学生種目は上記に関わらず、予選を行わずタイムレース決勝とする。
- 800m以上及びハードル競技、3000mSCはタイムレース決勝とする。
- 決勝出場者は予選終了後、速やかに通告・発表（記録速報はWEB上で発表）するので、決勝出場の準備をしておくこと。　また、招集場にて点呼を必ず受けること。

(7) <u>小学生のみ、スタート</u>については、下記のとおりとする。

- スタートの合図は、イングリッシュコールで行う。
（「On your marks（位置についての意）」「Set（用意の意）」「パン(ピストル音)」とする）
- スタート方法はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- スターティングブロックは使用しない。
- スタート時に、同じ選手が2回不正スタート(フライング)をした場合は失格とする。

(8) セパレートレーンを使用する競走種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(9) リレー競走で使用するマーカー（5cm×40cm以内の粘着テープ）は出場チームで準備すること。
使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。

ﾌｨｰﾙﾄﾞ競技

（10）フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。

（11）本選手権大会について、フィールド種目の試技は全員3回行い、ベスト8位によって
さらに3回の試技を行う。
本記録会について、フィールド種目の試技は、3回とする。

（12）**小学生のみ、走高跳は、**背面跳及びベリーロールは禁止する。
（マットへの着地は足の裏からとし、背、腰等からの着地は無効試技とする。）

（13）走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。（天候などにより変更することがある。）

一般・高校男子	(練習160cm)	165	170	175	180	185	以後 3cm
一般・高校女子	(練習120cm)	125	130	135	140	145	以後 3cm
中学　男子	(練習130cm)	135	140	・・・・・・・	160	165	以後 3cm
中学　女子	(練習100cm)	105	110	・・・・・・・	130	135	以後 3cm
小学生男女共	(練習80cm)	85	90	・・・・・・・	125	130	以後 3cm

（14）三段跳の踏切板について、砂場から次の通り設置する。男子：11m、女子：9m

（15）棒高跳のバーの最初の高さは（出場者の記録を考慮し）、競技開始前に告知する。
また、バーの上げ方も、5cm以上で（出場者の記録を考慮し）、競技開始前に告知する。

（16）ジャベリックボール投のピットは、やり投ピットを使用し、助走は15m以内とする。

シューズについて

（17）スパイクは使用してもよい。
スパイクピンの長さは、トラック種目、走幅跳、三段跳、ジャベリックボール投は9mm以内、
走高跳、やり投は12mm以内の平行ピンを使用すること。
但し、**小学生のみ、走高跳は、**9mm以内の平行ピンとする。
※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイクは使用できない。
※素足での競技は禁止する。

（18）靴底の厚さは、以下の通りとする。（規定外であることをレース前に確認した場合は出場を認めない）

○　トラック種目

800m未満	20mm以内
800m以上	25mm以内

○　フィールド種目

跳躍種目(除:三段跳)	20mm以内
三段跳	25mm以内
全ての投擲種目	20mm以内

6．記録の発表について

（1）記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。プログラム表紙、IDカード及び園内各所に掲示する
QRコードによりURLを取得できる。

7．表彰について(選手権大会のみ)

（1）クラブ（学校）対抗は、男女別・部門別に、第1位に総合優勝杯、第3位までに賞状を授与する。
（2）各種目優勝者には選手権章、第3位までに賞状を授与する。
（3）優秀競技者に、最優秀選手杯を授与する。

8．その他

（1）競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
（傷害保険の範囲内にて対応とする）

（2）競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。

（3）主催者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。